



2007.4.15 第26号

発行 四国ゴルフ連盟 〒790-0921 愛媛県松山市福音寺町55-1 電話 089-990-3260 FAX 089-990-3261

18年度加盟クラブ入場者 2年連続で増える 対前年比、今年も出足好調

四国ゴルフ連盟加盟クラブの平成18年度の年間入場者数が、17年度に比べて増加した。四連のまとめによると、18年度入場者総数は230万3166人で、対前年度比では各県ともやや伸び悩んだものの入場者実数は17年度をわずかに上回った。

競技人口増へ総力 四連18年度定時総会



平成18年度の四国ゴルフ連盟定時総会が2月20日、松山市道後の「ふなや」で開かれ、連盟役員、加盟倶楽部関係者ら30人が参加。議題の18年度収支決算、事業報告、19年度予算、事業計画などを審議、承認した。

長びくゴルフ不況に悩んでいた四国の業界もこのところの景気拡大の中で明るさが出てきたが大都市圏に比べると依然厳しい状況にある。この好調な出足を維持して3年連続の入場者増えさらにはゴルフ業界全体の底上げにつなげたいもの。

山シーサイドCCで開かれる。女子アマ同様にジュニア出身選手の台頭がめざましく、Kochi黒潮CCでの昨年度選手権では、大会史上初めて高校生チャンピオンが誕生して話題を呼んだ。

このあと7月のジュニア、8月クラブ対抗決勝、9月はシニア3競技へと続く。各大会とも四国チャンピオンの座をかけた熱戦の展開が期待されている。

なお、四国グラウンドシニア会の今年度51回春季競技は5月25日、坂元CCで開かれる。

JGA主催2競技でドーピング検査実施 日本ゴルフ協会(JGA)は今年度から第49回日本女子アマ選手権(6月19、23日)、第92回日本アマ選手権(7月3、7日)の2競技に出場する選手のドーピング検査の

だつたという全国調査の結果が報じられていた。その要因については気象の影響や景気の好転などを上げる一方で、大都市圏と地方の経済格差の拡大が指摘されていた。

今年度、四国は年初から暖冬に恵まれて1〜3月の入場者数は対前年度比で11.5%増となっている。この好調な出足を維持して3年連続の入場者増えさらにはゴルフ業界全体の底上げにつなげたいもの。

「団塊世代」の大量退職が始まった。いかにシニアゴルファーを増やせるか、正念場の年でもある。四連もゴルフの活性化に向けての一層の活動が求められている。

位独走が続いており、中堅・ベテラン勢の巻き返しが期待されている。会場となるタカガワ東徳島のGCでの開催は二度目。距離の長い丘陵コースで随所にあるクリクと広いグリーンが攻略のポイント。

続いて27回四国アマ選手権が6月6日から9日までの4日間、松山シーサイドの名物ホール17番

タカガワ東徳島のクラブハウス

平成19年度の四国ゴルフシーズンが開幕した。すでに今月、各県で予選競技が行われており、これを受けて四国ゴルフ連盟の主催競技が四国女子アマ(5月17日、18日)を皮切りに最終の四国レディース(11月1日)まで8競技が順次開催される。

今年度27回目となる女子アマ大会は、このところ学生陣の優勝、上位独走が続いており、中堅・ベテラン勢の巻き返しが期待されている。会場となるタカガワ東徳島のGCでの開催は二度目。距離の長い丘陵コースで随所にあるクリクと広いグリーンが攻略のポイント。

年連続ロアマ第13回日本ミッドシニア(浜西文夫(今治) 23位)第13回日本グラウンドシニア(真木清臣(新居浜) 20位)第28回日本シニア(高木佳紀(琴平) 11位)第11回日本ミッドアマ(崎山俊紀(今治) 第11回日本女子ミッドアマ(二宮薫(今治)、三木逸子(土佐) 6位)第36回中四国オープン(片山大育 3位)

第61回国体ゴルフ競技(徳島県) 成年男子(平山昌俊、金子景、尾崎竜二)8位、香川県少年男子(片岡大育、河野祐輝、志村智宏)8位

第6回日本スポーツマスターズ(香川県男子)小松将美、後藤高成井

上武)2位入賞

2007年 シーズンイン 5月女子アマ 6月四国アマ

このあと7月のジュニア、8月クラブ対抗決勝、9月はシニア3競技へと続く。各大会とも四国チャンピオンの座をかけた熱戦の展開が期待されている。

なお、四国グラウンドシニア会の今年度51回春季競技は5月25日、坂元CCで開かれる。

JGA主催2競技でドーピング検査実施 日本ゴルフ協会(JGA)は今年度から第49回日本女子アマ選手権(6月19、23日)、第92回日本アマ選手権(7月3、7日)の2競技に出場する選手のドーピング検査の

実施を決め各地区連に通知した。日本政府が昨年、ドーピング防止に関する国際条約を批准したに伴い、JGAもゴルフ界のアンチドーピングの普及、啓発と検査の実施に取り組みすることにしたもの。

検査対象となるのは四国女子アマ、四国アマに出場、JGA主催の両選手権の全国大会への出場権を得た選手。JGAでは検査実施に備え、ドーピングに関する文書などを作成、周知する。

(ドーピング検査とは)競技成績をあげるため興奮剤や筋肉強化などの禁止薬物を使っているかを尿などで調べる。68年のグルノーブル冬季五輪から実施、以後夏季五輪では禁止薬物の検出によるメダル剥奪が起きている。

たんしん 第30回トップアマゴルフトーナメント 4月12日、高松CCに全国から202人が参加。初出場の中島徹選手(昇仙峡)がトータル8アンダーで優勝した。

赤星兄弟のこと

宮本留吉プロはわざわざ関西から東京倶楽部に留学してきて教えを受け、その後、日本では一番強いプロ選手に育っています。

昭和52年に中四国トップアマの交流、研さんの場として発足、年輪を重ねて30年。数多くのトップアマを輩出し全国レベルを誇る大会に成長した。

平成19年度四連 競技シード選手

(四国アマ)片岡大育(詫間)山中陽生(土佐)大藤友里(グリーンファイ)金子景(阿南)崎山俊紀(今治) 松山幹男(北条)三木(外)こんびら

謙松山国際(小川貴大(松山)サイイド)松本芳男(高南)赤木和彦(阿南)松山英樹(スカイ)井上幸伸(宇都)安達豊(宇和島)寺山徹(徳島)谷川泰輔(スカイ)井上智(土佐)前田和宏(スカイ)谷太(スカイ)

おらが倶楽部でござる

其の二十七 愛媛ゴルフ倶楽部



当倶楽部のある内子町は、穏やかな四国連山を遠くに望む風光明媚な中山間地にあります。今も往時の繁栄の面影を残す「文化の里、木蝨と白壁の町」として知られ、多くの観光客を集めています。

(県都松山から南西へ40キロ、内子町は江戸末期から明治にかけて和紙と木蝨の産地、物産の集積地として栄えた。旧街道沿いには豪商たちの豪壮な邸宅や町屋が軒を連ね、その景観は昭和57年に四国で初めて国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された)

高畑翁が余生注いで

当倶楽部は、この歴史息づく町

翁に発起人代表と総合監修をお願いしました。

当時、翁は85歳。「引き受けた享年91歳」

歳でロンドン支店長。帰国後、日商を創立、日本屈指の総合商社に育て上げる。渡英15年で習得した本場のゴルフを皇太子時代の昭和天皇にご伝授したり、昭和4年の第3回日本オープンに出場、宮本留吉からプロ選手に伍して5位に入賞。ウッドクラブのヘッドカバーは翁の考案。また日本初のルールブック出版などに貢献した。昭和53年死去。

愛媛ゴルフ倶楽部
〒791-3341 愛媛県喜多郡内子町論田949
TEL 0893-44-4121

歴史息づく 年輪重ねて 文化の里に 32年の風格

並みを通り抜けた丘陵地に27ホールの雄大な姿を拓けています。倶楽部の建設には、内子町出身の経済人で日本ゴルフ界のバイオニアの一人としても有名な高畑誠一

以上は、どこに出してもひけをとらないコースに」と余生の全てを注いで下さいました。

(高畑翁は明治20年生まれ、神戸高商卒後、鈴木商店に入社、28

さて、当倶楽部は翁の熱い思いを受けた名匠鈴木正二氏が設計、昭和50年に18ホール、翌年に9ホールがオープンした。

昭和63年7月、当倶楽部が第56回日本プロ選手権の競技会場となりました。四国初のビックイベント。当時の3強、青木に尾崎将、中島のほかトッププロの勢ぞろいありあつてゴルフファンが殺到しました。高速度もない時代、大会4日間の観客はざっと3万人超。追いつ追わ

日本プロの会場に

陵地の自然を生かしながら各ホールが個性的で戦略性に豊み、しかも万人がプレーを楽しめる見事な仕上がりになっていました。

年輪を重ねた樹木を見るにつけ

前オーナーの長坂親和会長が思い出されます。自ら山に入ってケヤキなどを見てこれ、植樹の際は雪の日でも植え終わるまで愛おしそうに見守っていました。こうした多くの方々の熱意によって、今日の愛媛ゴルフ倶楽部は造られてまいりました。

諸先輩のご苦勞を忘れず、メンバーや関係各位のご支援を頂き倶楽部の発展に尽くす所存です。(徳永充・愛媛ゴルフ倶楽部支配人)

お四国随想

手島皓一

種田山頭火のことはただ自由律の俳句を作る変わった俳人だと、それくらいしか知らなかったが、以前大阪の高島屋で八十八カ所展を見たとき、横山良二氏の本を手に入れ、その時に山頭火の遍路について読みひどく感動を受けた。

以下は横山氏の小冊子(2003年9月25日東京印書館発行)から借りたものである。

山頭火10歳で母親が井戸で自殺し、その後の人生はいつも母の自殺が付きまといつてきたようだ。最後の四国遍路が昭和14年の秋、母の位牌だけを持つてのことだったのだらう。

宇品から四国へ「ひよと四国へ晴れきつて」。この句を作つて出発している。見聞する句のようだが、心に何か痛いような衝撃を与える。

このときは石手寺からだし、横山氏は書いてある。横峰峰登「翁ちぢま



山頭火と遍路

種田山頭火のことはただ自由律の俳句を作る変わった俳人だと、それくらいしか知らなかったが、以前大阪の高島屋で八十八カ所展を見たとき、横山良二氏の本を手に入れ、その時に山頭火の遍路について読みひどく感動を受けた。

願寺の大蓮寺「こゝ打ち留めの水のあふれている」に参り、また一番から。このころ彼はよく野宿していたようだ。「こゝで泊まるう、草の実払う」。彼は鳴門から撫養街道を番に向かつたのだらう。「泊めてくれな

音「雲辺寺山頂」上へ下別れ去る坂のけはしい紅葉「観音寺」晴れてしづかな大樟の雀ら「本山寺」うれ稲の松のしんもり五重塔立つ「普通寺」うれ稲はれば塔が見えだした。

から月が行く手に「暮れても宿がない百舌鳥が啼く」「水にそつていちにちだまつてゆく」。吉野川「ふたたび渡らない橋のながい風」。

山頭火は六喰で宿に断られ甲浦まで行きやうと泊めてもらつて。」「しぐれでも人が海を見ている」「落葉して寝るよりほかない山のうつくしさ」。その後はひたすら歩き続ける。室戸では「わだつみを前におべんとうまつしけれども」「海鳴りをぞる別れて遊い人をおもう」「いちにち物いわず波音」。池川町にある山頭火の句碑「野宿わが手が足わねにあたたく寝る」。

編集を終えて

7回1失点10K。レッツドソックス松坂大輔投手のデビュー戦は鮮烈でした。米大リーグの日本人選手が増え衛星TVの観戦が忙しくなりそう▲大リーグは試合のスピード化のため今年からマウンドでの投手の「投球持ち時間」を短くしたそうです。日本のプロ野球も一層の試合時

間短縮などに努めないと大リーグ人気に追いつかなくなりますが、ゴルフにもプレー時間の規定がちゃんとあることを存じますか。例えばパ13のティグラウンドで最初の競技者は状況判断の時間を含めて50秒以内、その後の人は40秒以内に打つよう決められています。だからプレーが競技全体を遅らせることを忘れないで下さい。(T)



本当の旬味わって

「だからこそ琴平膳で本当の旬と春の到来を味わって」とはレストランの前川伸枝マネージャー。「一人前1470円」。

春満開、旬の食材をふんだんに使った人気メニュー。お造りは魚偏に春と書くサワラに鯛。若タケ、サヨリの天ぷらに菜の花の小鉢。それにタケノコ飯と地元特産「さぬき夢豚」ロースの煮物に味噌汁、漬物の和食フルコース。魚や野菜などが一年中で最もおいしい時期を「旬」という。昔から日本人は四季折々の海山の幸を味わい季節の変化を感じた。だが今では科学技術の進歩で、トマトやキュウリは年中、店頭に並び季節感が薄くなってきた。

季節の琴平膳

(琴平CC)



春満開、旬の食材をふんだんに使った人気メニュー。お造りは魚偏に春と書くサワラに鯛。若タケ、サヨリの天ぷらに菜の花の小鉢。それにタケノコ飯と地元特産「さぬき夢豚」ロースの煮物に味噌汁、漬物の和食フルコース。魚や野菜などが一年中で最もおいしい時期を「旬」という。昔から日本人は四季折々の海山の幸を味わい季節の変化を感じた。だが今では科学技術の進歩で、トマトやキュウリは年中、店頭に並び季節感が薄くなってきた。

ビーフカツレツ

カリッと焼き上げた国産牛のフィレ肉に赤ワインソースの少し甘いの特製ソース。口に入れると、とろけるような柔らかさ。



とろける柔らかさ

徳島弁で「おいしいんじょ」とお勧めできる一品である。カツレツの語源は仏語の「コートレット」がなまったもの。肉の切身に小麦粉、溶き卵、パン粉をまぶしフライパンで焼くのが欧米流の調理法。洋食二筋40年の溝淵栄一料理長は「多めにバターを敷き焼き上げた後、余熱で数分間置くのがコツ」とか。付け合わせやサラダは地元産の無農薬野菜だ。ポタージュスープが付いて一人前1700円。